

とぎつ 議会だより

平成30年第4回定例会

NO.152
2019.1.18



継休

発行:長崎県時津町議会



- ◎ 産業厚生常任委員会審査 P 3
- ◎ 条例及び補正予算 P 4～5
- ◎ 議会報告会（懇談会） P 6
- ◎ 議員一般質問 町政に問う P 10～P 21



あけましておめでとうございます



時津町議会議長

山上 広信

新年明けましておめでとうございます。
皆さまには輝かしい新年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年は本町におきましては、大きな災害等の発生もなく一年を過ごせましたことは、幸いなことでありましたが、各地では局地的豪雨による水害や地震による震災など発生しており、多くの人命が失われたことは残念でなりません。

改めて自然災害から住民を守ることの難しさを考えさせられました。

さて、本年は議会にとつても平成最後の統一地方選挙の年です。

選挙の日程はすでに発表されており、町議会議員選挙の投票日は4月21日です。

5月には新しい元号とともに新しい議会が誕生します。

現在、全国の町村では少子高齢化と人口減少を背景として、地方議員に立候補する人が減り続けています。

いわゆる「議員のなり手不足問題」で、前回の統一地方選挙では、全国の町村議会議員のうち、約20%の議員が無投票で誕生しています。

また、小規模町村（人口1万人以下）の首長選挙では約43%が対抗馬がいなく、無投票で決着しています。

今、議会及び議員の多様性が求められます。

本年の統一地方選挙に於いて、多くの住民の方々の期待に応えられる選挙となることを期待しています。

魅力あるまちづくりは、執行者、議会だけでできるものではありません。多くの住民の皆さまのご参加・ご協力があつて実現するものと思います。本年も何卒よろしく願っています。

産業厚生常任委員会審査

附帯決議を付議し、原案のとおり可決

平成30年第4回定例会本会議において、産業厚生常任委員会に付託された議案審査のため委員会を開催、審査の中で多くの質疑を交わし、附帯決議を付議し、原案のとおり可決した。

議案第68号

あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について

【行政管理課】

【Q】水路の幅、深さはそれぞれのくらいあるか。

【A】水路の幅は3メートル、深さは2.4メートルである。



あらたに生じた土地の水路



あらたに生じた土地

【Q】あらたに生じた土地について、本定例会審議後に、来年の固定資産税課税対象となるか。

【A】今後の事務の流れとしては、本定例会審議後に時津町があらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について告示する。

その後、長崎県土地開発公社が登記手続きを行うことになるが、順調に事務手続きの遂行ができれば、来年の固定資産税課税対象となる可能性がある。

固定資産税の額としては500万円程度である。

【Q】水路にスクリーンを設置してもらいたい。

【A】長崎県土地開発公社と協議する。

【附帯決議について】

海からのごみ対策としてスクリーンを水路に設置するよう、以前から指摘していたが、設置されていない。



浮遊物対策用スクリーンがない

現行の議会運営の手順では、産業厚生常任委員会でも本議案を可決した場合に、町長に対して長崎県土地開発公社に、水路設置の要請をする機会がないので、附帯決議を付議すべきではとの提案があった。

あった。

附帯決議を付議することについて全委員異議なく、附帯決議を付議することにした。

反対討論

以前から提案していた水路へのスクリーンが履行されていないので、本議案について反対する。

賛成討論

海からの浮遊物対策の不備について、町長から施行者である長崎県土地開発公社に対策を取るよう、要望する附帯決議を付して賛成する。

【議案第68号「あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について」に対する附帯決議】

当該埋立地内の水路に海からの浮遊物ごみの侵入・堆積を防止するため、長崎県土地開発公社に対し、水路にスクリーンを設置するよう要請することを強く要望するものである。

採決

議案第68号は、賛成多数により、原案のとおり可決すべきと決した。

一般会計補正予算 3億5,248万7千円追加

小中学校エアコン設置費など

総額 **118億268万7千円**



来年度は良い環境の下で学力向上

平成30年第4回定例会は、12月4日から12月12日までの9日間開催され、一般質問では11人の議員が登壇し、地域防災の取り組み、教育問題、高齢化者への取り組み、マイナンバー制度、税金の徴収など町政全般にわたり論戦を展開した。

一般会計、特別会計、事業会計の補正、エアコン設置工事、条例の改正、指定管理者の議会の議決など集中審議の結果、すべてを原案の通り可決した。

■一般会計の主な補正予算項目

歳入（収入）

項目	補正額	補正の理由
国庫支出金	+ 1 億 238 万円	エアコン設備のため増額（小・中学校）
町 債	+ 2 億 730 万円	エアコン整備のため増額（小・中学校）

歳出（支出）

項目	補正額	補正の理由
総務費	242 万円	交通安全対策の一環で点字ブロック等の設置工事
民生費	1,335 万円	障害児の放課後等デイサービスが増加したための給付費
教育費	3 億 971 万円	エアコン整備設置工事（小・中学校）

* 万円未満は切り捨て

その他主な一般会計補正

* 総務費

■委託費 140 万円

パソコン内部の基幹系ネットワーク更新作業委託として

* 民生費

■措置費 247 万円

養護老人ホーム入所者が8名から10名に増加

■給付金 558 万円

障害者介護事業費が増加したため

■支援事業 552 万円

グループホームにおいて災害に対応した防災対策のために、バルクシステムに変更

バルクシステムとは

災害対応型LPガス供給システム

* 教育費

■調査費 241 万円

学力実態調査のための実施費用

■購入費 181 万円

時津北小学校体育館備品費として折りたたみ椅子等を購入



恒例の時津町出初式典

消防団員の 報酬及び費用弁償が UPします

憲法第94条の規定によって地方公共団体が法律の範囲内で、当該地方公共団体の事務に関して定める法規の一種。

条例とは

主な条例の改正

*議案第61号

「時津町消防団員の報酬及び費用弁償及び支給に関する条例の一部を改正する条例」

町内で開催される分団長会議や式典等に出席した場合の費用弁償について「執行機関及び附属機関としての各種委員等の報酬及び費用弁償に関する条例」に基づき支給することとし、一日当たりの額を1,000円に改めようとするもの。

また、火災・災害時における出勤の場合につき、近隣市町の支給状況に鑑み、額を次の通りに改正するもの。

- 1時間以上4時間未満
2,700円→3,500円
- 4時間以上
4,800円→7,000円

*議案第62号

「時津町指定地域密着型サービス事業者の指定並びに指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」

■特別会計・事業会計の補正

項 目			補 正 額	予 算 総 額
特別会計	国民健康保険			34億4,893万円
	後期高齢者医療保険			3億2,042万円
	介護保険(第2号)		328万円	22億4,294万円
	介護保険			22億4,334万円
	浄化槽整備事業			4,440万円
事業会計	水道(第2号)	収益的収入	12万円	7億5,790万円
		収益的支出	202万円	6億3,129万円
		資本的収入		6,962万円
		資本的支出	▲165万円	4億2,216万円
	下水道(第2号)	収益的収入	▲2,107万円	8億7,967万円
		収益的支出	▲14万円	7億4,003万円
		資本的収入	▲988万円	1億7,852万円
		資本的支出		5億 575万円

*万円未満は切り捨て

議会報告会(懇談会)

議会報告会(懇談会)を下記のとおり、4つの会場で開催します。

議会報告会は、議員が直接地域に出向き、議会活動の状況などを町民の皆さまに、報告・説明し、議会活動に関するご意見や町政に対するご提言などを伺う場として開催するものです。

多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

※開催日程等(ご都合のよい会場へご来場ください)

開催日	班	場所
2月6日 (水曜日) 14:00～16:00	1班	時津公民館
	2班	総合福祉センター
	3班	北部コミュニティセンター
	4班	東部コミュニティセンター

班編成1班4人の議員で各地区を担当します。

【1班】久保哲也	矢嶋喜久男	浜辺七美枝	平埜 靖
【2班】水口直喜	相川和義	濱崎幸徳	山上広信
【3班】新井政博	川口健二	濱田孝則	大塚俊久
【4班】山脇 博	中原裕子	山口一三	川原貴光

内 容

- ①平成29年度決算審査報告
- ②議会および議員活動に関する要望について
- ③議会報告会のあり方に関する意見・要望について



主催：時津町議会 問い合わせ：議会事務局 TEL095-882-3959

長与・時津環境施設組合(一部事務組合) 平成30年第2回定例会の報告

期間：平成30年12月26～27日

場所：長与町役場議場

一般質問

ダイオキシン類の濃度
超過対策はどうしたか

安全な稼働の確保を図っている
管理者

新井 政博 議員



Q ダイオキシン類濃度基準値超過という重大な事が発生し、住民の皆さまに不安を与えたが、結果的には内部的な採取ミスと結論づけられた。

その後の対策はどのようにしたか。

A 却場関係会社のプランテック、長与時津環境サービス、施設組合の3者で協議を行った。

内容としては排出ガス・焼却灰等の測定、運営維持管理に係る法令の遵守、安定燃焼の確保、定期的な点検・整備の実施、運営監視職員のスキルアップ、各種情報の共有を基本方針とし、安全な稼働の確保を図るための協議をした。

Q 現在焼却炉の稼働は、安全に行われているか。

A 稼働の状況については、排出ガス、焼却灰等の計測管理検査において、運転基準値以下推移している。また監視・点検・整備・運転体制の改善により、安全な稼働を継続している状況である。

オープンした板の浦公園の今後の維持管理はどうしていくのか

総合的に維持管理していく
管理者

Q 駐車場利用や公園に入る案内板が、ないがどのようにするか。

A 却場関係会社のプランテック、長与時津環境サービス、施設組合の3者で協議を行った。

Q 全体的に、これが公園かなと思われるが、どのように考えているか。

A 当初は計画地域の中央部の民有地まで含めた一体的な公園を造る予定だったが用地買収が不調に終わった。まずは、芝生の整備や樹木等



安全に稼働している焼却場

の育成など、自然環境を最大限に生かす取り組みを実施したいと考えている。

Q 焼却場周辺の草等が生い茂り環境が良くないが、整備についてどのように考えているか。

A 除草作業については専門業者に依頼し年2回実施している。

除草作業はその生育状況により、有効と考えられる時期に実施している。今後も引き続き、定期的な除草を実施し、環境美化に努めて参りたいと考えている。

議会運営委員会所管事務調査

福岡県嘉麻市、本庁舎等においてタブレット操作研修会を実施

議会運営委員会所管として、「議会のペーパーレス化」を進めるため、タブレット導入の検討に入り、まず先進地視察として、福岡県嘉麻市及び長崎県諫早市並びに本庁舎等において、視察及び操作研修会を実施した。

初期費用は当然ながら必要であるが、導入後の議員の利便性、執行部との情報共有、ペーパーレス化、テレビ



本町第2庁舎でのタブレット操作研修会

電話で他庁舎間との会議・研修会の実施、 $\sim$ の活用による様々な可能性などを考慮すると、時津町においてもタブレット端末の活用が必要ではないかと思う。

【福岡県嘉麻市】

*議会タブレット導入視察研修
実施日：平成30年1月29日(月)
～30日(火)

【全員協議会】

*福岡県嘉麻市の行政視察報告
所管事務調査決定
実施日：平成30年5月22日(火)

【長崎県諫早市議会視察(傍聴)】

*タブレット使用状況視察
実施日：平成30年6月15日(金)

【議会運営委員会】

*ICTセミナー報告(山口委員から)
*全員協議会中間報告について
実施日：平成30年8月22日(水)

【議会タブレット操作研修会】

本町役場第2庁舎
実施日：平成30年12月7日(金)
参加者：全議員、町長部局4人

平成30年第4回定例会(12月議会)の議案及び賛否

議案番号	議案名	審議結果	大塚 俊久	平 埜 靖	川 原 貴光	濱 崎 幸徳	山 口 一三	浜 辺 なみえ	中 原 ゆう子	山 脇 博	久 保 哲也	水 口 直喜	矢 嶋 喜久男	濱 田 孝則	相 川 和義	川 口 健二	新 井 政博	山 上 広信
第62号	時津町指定地域密着型サービス事業者の指定並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
第63号	時津町指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
第68号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	*
第73号	町長及び副町長の給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

○：賛成 ●：反対 △：退席 欠：欠席 *：議長は採決に加わらないため「*」で表示

※紙面の都合により、今回上程された19議案のうち反対討論があった4議案のみを掲載しております。

各種行政視察調査

広報編集委員会視察研修

〔研修地〕
埼玉県小川町

〔研修日〕

平成30年10月2日

〔研修タイトル〕

議会だより発行に関する視察研修

〔研修内容〕

町村議会広報全国コンクールにて特別賞、議長会コンクールでも優秀な成績を収められている。

〔所感〕

写真の説明文や枠外の読者の感想、メッセージなどを吹き出しを使うことにより見やすく、目に留まりやすくなっている。

また、町民の声を多く議会だよりに掲載するために、意見を募集したり、お洒落な似顔絵のイラストを使って話をさせている。

町内に取材に出かけていき実際に町民と話をしてその様子を載せている。

今後、挑戦したいと考えている。色々な面で参考になった研修であった。



フレッシュな感覚で議会だより作成に取り組む小川町議員団

大津町議会広報委員会行政調査

〔来庁者〕
熊本県菊池郡大津町議会

〔研修日〕

平成30年10月1日

〔研修タイトル〕

議会広報編集全般について

〔研修内容〕

○申し合わせ事項が有るか。

○請願、陳情、発議（意見書の提出）において、討論の掲載をどのようにしているか。

○表紙の写真や記事内の写真について誰が、どのように用意しているか。

○特集記事の内容について、誰がどのように検討しているか。

○見やすい紙面づくりのため、心がけていることは。

などを質問され活発な意見交換がなされた。



勉強するという意欲が伝わってきた大津町議会広報委員会の議員団

〔所感〕

大津町の議会だよりを見せて頂いたが、町内にある大学と連携して「大学生によるレポート」を連載している。

内容は議会傍聴をした感想や、学生同士の意見交換会の内容で有ったが、とても活発であり議会に対する興味・関心が湧いたことがとても良く見て取れた。

時津町でも参考にできるのではないかと考えた。

一般質問

- 質問の内容は事前通告制です
- 制限時間60分の範囲内で一問一答で行われます

11議員が登壇

町政に問う

時津町 今とこれから

新井 政博 議員 ⑪

- 1 時津町におけるキリシタン遺産の活用について
- 2 地域防災の取り組みについて

濱崎 幸徳 議員 ⑫

- 1 時津町民の健康について
- 2 時津町の学力向上について
- 3 学校での交通安全教育について

川口 健二 議員 ⑬

- 1 ペーロン船格納庫について
- 2 日並のゲートボール場の駐車場整備について
- 3 小・中学校のエアコン設置について

浜辺 なみえ 議員 ⑭

- 1 災害の危険から町民の命を守る抜本的対案について
- 2 来年10月からの消費税10%への増税の問題点と対策について

大塚 俊久 議員 ⑮

- 1 放課後の子どもの安全な居場所について
- 2 ふるさと納税について

中原 ゆう子 議員 ⑯

- 1 若者の社会参加はどのようになっているか
- 2 超高齢化社会への備えについて
- 3 学校で行う子どもや保護者に対する支援について

山口 一三 議員 ⑰

- 1 マイナンバー制度について
- 2 長崎広域連携中枢都市圏について

久保 哲也 議員 ⑱

- 1 環境美化にさらなる努力を
- 2 学童保育の現状と課題について

山脇 博 議員 ⑲

- 1 税金の徴収について
- 2 教育現場の問題点について

水口 直喜 議員 ⑳

- 1 町木・町花および花いっぱい街づくり事業について
- 2 施政方針について
- 3 教育方針について

平埜 靖 議員 ㉑

- 1 高齢者支援と交通等の諸問題について
- 2 学校教育と発達障害について

会議録の閲覧場所

一般質問の会議録は、時津町役場、時津町総合福祉センター、時津図書館、時津町東部コミュニティセンター、時津町北部コミュニティセンター、時津公民館、時津町ホームページで閲覧できます。



キリシタン殉教の島 鷹島

キリシタン遺産の活用は

周知方法について研究が必要

相川 教育長

新井 政博 議員

Q その昔時津町には相当数のキリシタンが定住していたようです。結果としてキリシタン墓地が確認されており、殉教の島、鷹島や二十六聖人上陸の地、キリシタンであった長崎甚左衛門の墓がある。文化財に指定できないか。

新井 政博 議員

Q 町には相当数のキリシタンが定住していたようです。結果としてキリシタン墓地が確認されており、殉教の島、鷹島や二十六聖人上陸の地、キリシタンであった長崎甚左衛門の墓がある。文化財に指定できないか。

A 墓碑が残っている可能性はあるが、その実態は明らかにになっていない。歴史・学術上価値が高いもので、町にとって重要なものである事が条件となる。そのような条件が整っていない状況では、現時点では町指定文化財に指定する事はできない。

(吉田 町長)

Q 町の歴史教育はどのようにしているか。

A 小学校においては、社会科副読本「わたしたちの時津」で長崎甚左衛門の墓や二十六聖人上陸の地など調べ学習を行っている。

今後学習指導要領に基づいた中で、キリシタン遺産等をはじめとする郷土の歴史や自然、文化、産業等を通してふるさとを愛し誇りに思う心情、人材の育成に取り組んでいく。

(相川 教育長)

Q 町民にもカトリック遺産を広く知っていただくべきではないか。

A 講師を招き「時津町の今昔〜中世の時津とキリシタン〜」と題して歴史講演会を開催した。本町にはさまざまな歴史・文化遺産がある。

カトリック遺産に関することを特科して町民に周知する事については、その内容や方法について、今後まだ研究が必要。

(相川 教育長)

地域防災取り組みの強化を急げ

積極的な働きかけと実施の支援をする

吉田 町長

Q 今年は大きな自然災害が全国各地で発生しました。防災の基本は、「自助・共助・公助」とあるが自分の命は自分で守るという自助が大切だと思っている。自主防災組織の活性化のために、小学校ごとの防災訓練の実施はできないか。

A 全地域で自主防災組織を結成しており、定期的に防災訓練を行なっている。それぞれの校区が連携して避難所の運営などの協力が出来るので、推進していく。「自治会長と町との懇話会」では検討を始めており、訓練の開催頻度や防災意識を高めるための訓練内容など協議を進めている。

Q 学校での防災教育の推進は行っているか。

A 授業の中で、災害に対する正しい知識を身につけ自分の身は自分で守る力を育成している。避難訓練としては、火災・地震・不審者侵入等を想定した訓練を実施している。

また、避難訓練前の学級活動では、台風や地震などの災害が起きた時の行動の指導も行っている。

(相川 教育長)



防災士による防災講話 野田郷ふれあい館

Q 防災士を増やす方法は考えられないか。

A 町内には防災士として登録されている方は、33人である。各地区の防災リーダーとして中心的な役割を担っていたかと思う。今後、各地区で防災士を増やしていく。

Q ハザードマップを活かした街歩きを実施してはどうか。

A ハザードマップの活用については十分検討する必要がある。



元気はつらつ手帳

健康寿命の取り組みは

インセンティブ事業の導入を検討する

吉田 町長

濱崎 幸徳 議員

2022年までに健康寿命を日本一の水準にするこ
とが長崎県の目標
であり、時津町と
しても健康寿命の
取り組みは、医療
費削減の観点から見ても重要であり質問
する。

Q

時津町としてもポイント事業を取り入れた、健康寿命の取り組みを
考えないか。

A

健康ポイント事業に2年以上取
り組んでいる自治体は、5市町あ
り、目標ポイント達成者が対象者の1%
未満と、事業主体の狙いが十分に浸透し
ていない状況である。本町としては、ポ
イント事業の取り入れは考えていない
が、特定健診受診率向上を図る対策とし
て、国民健康保険の「個人に対するイン
センティブを付与する事業」の導入を検
討し、健康寿命の延伸に取り組んでいく。

Q

時津町として、フレイル予防を通
じたまちづくりを行ってはどうか。

A

平成30年4月に「高齢者の特性を
踏まえた保健事業ガイドライン」
を策定しており、高齢者の中でも特に後
期高齢者は、フレイルが顕著に進行する
ことから、フレイルに着目した対策に重
点をおくとともに、生活習慣病の重症化
予防等に取り組むことが重要である。本
町では、今年度より高齢者自身でセルフ
マネジメントができる介護予防手帳「元
気はつらつ手帳」を作成し、高齢者の皆
さまに配布している。自分で目標を立
て、1年間の取り組みの記録ができる欄
を設けており介護予防に取り組めるよう
になっている。

学力向上への教育長の目標は

全ての教科で全国平均を上回る
ことを目指して努力する

相川 教育長

Q

学力向上に向けての取り組み、ま
た成績の目標は。

A

学校の取り組みとして、「とぎつつ
子学力向上プラン」を学校へ提案。
学習内容の定着を図る授業を徹底するよ
う、特に力を入れて指導に取り組んでい
る。児童生徒の学力が確実に向上し、全
国学力学習状況調査において、小中学校
ともに全ての教科で全国平均を上回るこ
とを目指して努力する。

Q

エアコン設置を受けて、夏休期間
を短縮して、教員の働き方改革を
行うべきではないか。

A

エアコン設置による教育環境改善
後の夏休み期間の短縮については、
どのようなメリットまたはデメリットが
あるのか等の研究調査を行いながら、今
後検討していく。



学校での安全教育は万全か

自分の命は自分で守ることを
指導している

相川 教育長



Q

横断歩道を渡るときに、手を挙げ
て渡る指導はしていないか。

A

歩行者が安全に道路を横断できる
よう示した、「安全横断手のひら運
動」については、警察署の担当者からの周
知依頼により、児童生徒へ指導している。

Q

両手に荷物を持っている児童は、
手を挙げて横断歩道を渡れないが
交通安全のためにも、「置き勉」などの対
策を講じるべきではないか。

A

安全意識の向上を図るとともに、
学習用具の持ち帰りについても必
要に応じて配慮を行うよう指導する。



ペーロン船格納庫予定地

ペーロン船格納庫の建設を急げ

時津北研修センター横の町有地の一部に建設予定
吉田 町長

川口 健二議員



Q 新しいペーロン船格納庫の建設予定地は確定しているか。

A 建設地について検討した結果、日並郷の木場崎地区にある、時津北研修センター横の町有地の一部に建

設することが最適であると判断し、要望団体もすでに同意している。

Q 総面積、格納するペーロン船の地区および数、シャワーやトイレ等の設備の計画はどうなっているか。

A 延べ面積を180平方メートル程度と考えており、格納するペーロン船の数は、子々川・日並・久留里・左底の4艘と町ペーロン協会の船2艘を格納する。シャワーやトイレは、ペーロン協会および隣接する時津北研修センターの指定管理者等と協議する。

Q 西時津にある格納庫は、湿気対策等が必要と考えるが見解は。

A 施設の老朽化に伴う補修や改善は、必要に応じて行っていくが、湿気対策等が現状で必要かどうかは町ペーロン協会とも協議を行う。

日並ゲートボール場の駐車場整備はどうなる

ペーロン船格納庫の整備にあわせて7月頃までに行う
吉田 町長

Q 県より買収して何年経過したか。

A 5年経過している。

Q 駐車場の整備に要する事業費は、いつ頃整備する予定か。

A 駐車スペース等の整備に、事業費約600万円ほどを見込んでいます。実際の整備は新たなペーロン船格納庫の敷地整備とあわせて、7月頃までに行いたい。

夏までにエアコン設置は間に合うか

早期に工事に取りかかれるよう準備を進めていく
相川 教育長

Q 小中学校6校のエアコン設置数、総事業費はどれくらいか。

A 1教室に1基の室外機と2基の室内機を考えており、小学校が95教室に、中学校が55教室の合計150教室分となる。総事業費は、実施費とあわせて、小学校が約2億円、中学校が約1億2千万円の合計約3億2千万円となる。

Q エアコンの能力は、教室の面積に対して十分であるか。

A 教室の広さや児童生徒数などを考慮の上、能力的に見合ったものを設置する。



小中学校のエアコン整備が実現

Q 設置後の電気代等、維持費はどのくらいを見込むか。シーズンオフの期間はどうか。

A 電気料金は小中学校6校で年額700万円程度を想定している。シーズンオフは空調設備を使用しないため、空調設備使用時の基本料金となる。

Q 事業費に対する国・県・市町村の負担割合はどうか。

A 国が3分の1、残りが町負担となり、起債は交付税が措置される。

Q 設置工事が集中すると予想されるが、業者選定は大丈夫か。

A 早期に工事に取りかかれるように準備を進めていく。

避難所に段ボールベッドを
すぐ導入できる仕組みを

災害時に調達できるよう
会社と協定を結んだ 吉田 町長

浜辺 なみえ 議員



日本では当たり前
前になっている避難
所での雑魚寝は、
先進国で日本だけ
で、欧米では簡易
ベッドを使用して
いる。東日本大震

災で、避難所の雑魚寝で凍死する人が出
たことを受け、保温性があり安価で簡単
に組み立てられる段ボールベッドが考案
された。

使用者へのアンケート調査では7〜8
割が「体が楽になった」「立ち上がりやす



避難所での段ボールベッドの組み立て

くなった「よく眠れる」などと回答。

2011年以降、各地で約1万6,000

床が活用されている。政府は「避難所運
営ガイドライン」(2016年)で、継続
的な避難所に対し「簡易ベッドの確保を
目指す」と明記した。

導入は、自治体と段ボール業界団
体との事前の防災協定が必要。本

町も協定を結び、災害時に迅速にベッド
を導入するしくみを構築すべきでは。

本町では「災害時における段ボ
ール製品の調達に関する協定」を、
日本紙器株式会社と平成30年11月30日に
締結した。

協定書の内容は、災害が発生し、中長
期的な避難所での生活が予想される場合
に、避難所で必要となる段ボール製簡易
ベッド、段ボール製シート、段ボール製
間仕切り、段ボール製簡易トイレなど
について、本町の要請に基づき、各避難所
に納付していただくというもの。

町の指定避難所の数、指定避難所
に設置されている和式と洋式のト
イレの数はそれぞれいくつあるか。洋式
を増やす計画は。

指定避難所は16箇所ある。和式が
合計8基、洋式が137基。洋式
トイレが設置されていないのは、北小学
校体育館の1箇所だが、新しい体育館で
は洋式トイレが5基となる。

避難所に畳のない施設の数。

10箇所、マットレスや段ボール、
毛布等で対応することになっている。

エアコンのない避難所の数は。

7箇所、エアコンのない避難所
である小中学校の体育館につい
ては、エアコンのある特別教室等を利用す
ることを想定している。

教室の利用が困難な場合や避難生活が
長期にわたる場合には、体育館に仮設の
大型エアコンを設置して対応することを
考えている。

消費税増税は中止し
富裕層と大企業が負担を

国政での議論で国民の意見が
反映される結論を 吉田 町長

消費税増税を強行すれば、消費不
況をいよいよ深刻にし、貧困と格
差拡大に追い打ちをかけることに。

政府は「複数税率」を導入し、同じ食
品でも、飲食店での出前や弁当の持ち帰
りは8%で、「外食はぜいたく」という理
由で、店内飲食は10%。現場は混乱し、
余計な苦勞をさせる。

政府は「社会保障のため」と説明する



避難所で組み立てられた段ボールベッド

が、消費税は導入後に国民から累計
372兆円集めた一方で法人税は累計
291兆円も減っており、約8割が社会
保障のためではなく大企業を中心とした
法人税減収の穴埋めに回されている。保
有株式時価総額1千億円以上の超大株主
が保有する株式の時価総額は、安倍政権
の5年9ヶ月で3.5兆円から17.6兆円
と5倍に膨れ上がった。

税金は負担能力に応じてという応能負
担の大原則にたち、富裕層と大企業に応
分の負担を求める税制改革が必要ではな
いか。

消費税増税で懸念されている部分
について、政府には、丁寧な説明
が求められている。国政での議論の中
で、国民の意見が反映される結論を出し
ていただきたい。



新しく建設中の「つくしんぼうクラブ」



大塚 俊久 議員

共働き家庭の児童数の増加が見込まれるなか、放課後の居場所が安全で安心であるための、さらなる支援体制の強化が必要だと思われる。

児童の放課後の居場所は安全か

安全・安心に積極的に取り組む

吉田 町長

Q 時津小学校の学童保育の建物が移転建て替え工事中であり、また東小学校も新築工事中である。これによって利便性のアップにつながり、受け入れ態勢は整ったと思われるが町全体として充分か。

A 町全体の学童保育所の受け入れ可能児童数266人に対し、登録児童数226人、平均利用児童数203人であり受け入れ態勢は整っている。

Q 特別支援学校、特別支援学級の子どもの放課後の居場所に対する対策は充分か。

A 特別支援学校、特別支援学級の子どもの放課後の居場所としては、学童保育所や放課後等デイサービスがあり、特別支援が必要な子ども達の放課後の居場所は充足している。

Q 放課後、子どもたちへの声かけ事業の報告があるが、町の対応・対策は。

A それぞれの活動団体と警察など関係機関との連携を図るため、情報交換会を定期的に開催しながら、安全・安心なまちづくりに積極的に取り組んでいく。



Q 町内の公園などの定期的な点検・整備また安全への配慮は。

A 引き続き子ども達が安全で安心して利用できるよう、公園の維持管理に取り組んでいく。

ふるさと納税の今後は

本町と本町の特産品を積極的なPRに務める

吉田 町長

Q 総務省の通達で返礼品を納税額の3割以下に抑えるようになっていくが、町として今後変更、見直しは。

A 10月31日までに全ての返礼品を見直し、返礼品割合を3割以下とし、真珠などの宝飾品を廃止した。

Q 返礼品による町内産業・地域産業の活性化に成果が出ている。今後、地元特産品を利用した第6次産業に対する町の取り組みは。

A 連携先となる業者との協議に積極的に参加し、マッチングを図るなどして、6次産業化への取り組みを、さらに支援していく。

Q 返礼品への苦情など発生していないか、また事業者への研修など随時行っているか。



見直しになった返礼品

A 町が把握している限りでは、不満や苦情は発生していない。また、今後も返礼品提供事業者には、随時、協議や説明を行っていく。

Q リピーター・新しい顧客の確保に今後町の取り組みは。

A 本町および本町の特産品をPRし、全国の皆さまに応援していただくよう努めていく。また魅力ある返礼品の登録を進めていくとともに、受付サイトの事業者とも協力し広報等を行い、新しい寄付者を募っていく。



地域で大切に育てられている子どもたち

若者の社会参加の促進を図れ

今後も機会を捉えて
意見交換をしたい

吉田 町長

中原 ゆづ子 議員

時津町においては色んな行事が一年を通して行われているが、中学生くらいから20歳代中盤の若者の姿があまり見えない。

若者にも町として気軽に社会参加をしていただける施策が必要と考えるので、次の点をうかがう。

Q 若者が実際にどのようなことを考えているのか若者向けにアンケート調査を行ってはどうか。

A 第5次総合計画を策定する折に住民アンケートを実施した。その中に年齢が記載してあるので、年代別に若い世代の意識調査ができた。

Q 若者との懇談は実施したのか。その中で、どのような考えが出たか。

A 成人式の運営委員、町内事業所で働く若者との座談会、青年農業者、役場庁舎内の若手職員との懇談会などを行った。その中で、非常に有意義な意見交換ができていたと考える。

Q 若者が参加しやすいように、夜間や土日開催の講座を開催したらどうか。

A 北部・東部コミセンやコスモス会館は比較的平日昼間の開催が多いが、公民館講座は現在、ほとんど平日の夜に開催している状況だ。

Q 県内大学に進学して卒業後、町内業者もしくは県内業者に就職するなどの条件をつけ奨学金を貸与し、実際に就職したら返済なしにするなどの策を講じてみてはどうか。

A 本町奨学金制度は平成28年度からの運用で、経済的な理由で進学が

難しい子どもへの就学支援が目的である。しかし、今後の状況を検証しながら適正な制度の運用に努めていきたい。

Q 例年行われている福祉センターでのボランティア祭り等に中高生から大学生や若者が参加できる項目を作っているかどうか。

A 町としても若者のボランティア活動へ参加のきっかけづくりと理解を深めることは有意義なことと考えるので、時津町ボランティア連絡協議会に相談する。

超高齢化社会への備えはできているか

長崎圏域の協議会に参加し
協議している

吉田 町長

Q 町内の介護事業所は、どこも満杯で今後需要は増えると思われるので、増やして欲しいがどのように考えるか。

A 近隣自治体と比較して施設整備が充実しているので、第7期介護保険事業計画において原則施設整備は行わないこととしている。

Q 介護事業所の人材不足が顕著だが今後計画的に人材育成をする必要があると思うが、いかがか。



町内の施設は本当に足りているか

A 長崎圏域の広域的な枠組みの中で協議や取組みを進め、介護人材の育成・確保にむけて進めている。

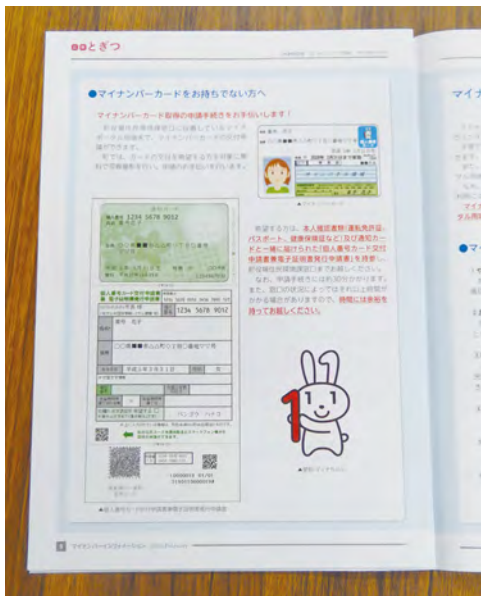
子どもや保護者への学校での支援は行われているか

人権教育や家庭教育支援
プログラム等を行っている

相川 教育長

Q DV予防教育や保護者に対してファミリープログラムを行うべきだと思うが、行っているか。

A DV予防教育は人権出前講座の中で行っている。また、ファミリープログラムは、今後、機会を増やしたいと考えている。



マイナンバーカード交付促進の為に町広報誌より

Q マイナンバーカードの身分証明書以外の利用方法はどんなものがあるか。

A 主な利用方法としては、本人確認の身分証明のほか、マイナンバーの証明、マイナンバーの利用、税の電子申告など各種行政手続きのオンライン申請などがある。



Q 平成30年度の事業見込総額はいくらになったか。

A 連携中核都市である長崎市が行う、「圏域全体の経済成長のけん引」に機能の集積・強化」に9億9,112万円、また、1市2町で進める「圏域全体の生活関連機能サービス向上」については、3億8,778万1千円であり、平成30年度総額は14億9,254万5千円となっている。

Q クルーズ乗船乗客・乗務員数の目標値を55万人から72万人に増員されている。

A 平成28年は、197隻のクルーズ客船が入港し、乗客・乗務員数は71万7,288人と前年より28万人増加、平成29年度に定めた目標値55万人をすでに達成した状況であり、2020年度の目標値を平成28年度の実績値に置き換えたものである。

山口 一三 議員

マイナンバー法（2015年10月5日）施行後約3年を経過し、平成29年3月8日現在の全国での交付枚数は1,071万7,919枚で、政府が作成した「マイナンバー制度活用推進ロードマップ」には国民の交付枚数目安として、「2016年3月末で1,000万枚、2019年8,700万枚」と記載されているが、交付実績枚数はほど遠い結果となっている。



本町のマイナンバーカード交付実績枚数及び交付率は

平成30年9月末現在の交付枚数は3,288枚で交付率は10.87%である

吉田 町長

そこで、国及び他自治体並びに本町の現状についてうかがう。

Q 平成30年9月末現在の交付実績及び交付率は。

A 交付枚数は3,288枚で交付率は10.87%である。

Q 平成29年9月以降マイナンバーカード交付促進の取り組みは。

A マイナンバーカードを利用する機会が多くなる確定申告の時期に合わせ、町広報紙や転出入や証明書交付のために来られた方へ、マイナンバーカード申請チラシを配布、また、マイナンバー端末を利用し、オンラインでのマイナンバーカード取得申請のサポートを行っている。

本件については、人口減少、少子化・高齢化が進行する中であっても、圏域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようするための目的で、長崎市及び長与町並びに本町の1市2町で「連携中核都市圏」を形成、現在まで進められている。

本年が計画期間の中間年となっている観点から以下の点についてうかがう。

Q 平成30年度の事業見込総額はいくらになったか。

A 連携中核都市である長崎市が行う、「圏域全体の経済成長のけん引」に機能の集積・強化」に9億9,112万円、また、1市2町で進める「圏域全体の生活関連機能サービス向上」については、3億8,778万1千円であり、平成30年度総額は14億9,254万5千円となっている。

Q クルーズ乗船乗客・乗務員数の目標値を55万人から72万人に増員されている。

A 達成可能な目標値なのか、増員された理由は。



長崎港へのクルーズ客船入港増加中



ポイ捨て厳禁

環境美化に更なる
努力を図れ

関係機関と連携を図りながら
対策を行っていく

吉田 町長

久保 哲也 議員



況を町としてどう掌握しているか。

時津町環境美化
条例が平成5年に
交付され、本町の
環境美化はこの条
例の基に運営され
ている。この関連
する政策の実施状

Q 不法ごみ投棄摘発、防止対策は。

A 不法投棄の発見、監視、防止対策
については、西彼保健所など関係
機関と連携を取りながら対策を実施して
いる。

Q 罰則規定での処罰、勧告などの事
例はあるか。

A 本町では、廃掃法の罰則規定の適
用規定が適用された事例はこれま
で発生していない。

Q 鳴鼓岳駐車場にいたる林道の不法
投棄、ごみ対策の是非は。

A 必要に応じて看板設置や定期的な
パトロールの実施など、西彼保健
所や時津警察署などの関係機関との連携
を図りながら対策を行っていく。

Q 文化の森展望所が機能していない
定期的メンテの是非は。

A 職員による点検を実施するととも
に、利用状況や現状、これまでの
補修経過等を踏まえ、適正な維持管理に
努め対応していく。

Q 子々川ダム横公園のトイレ改修工
事の是非は。

A 管理面なども含めて、引き続き地
元と協議していく。

学童保育の運営は

基準に照らし適正に
運営されている

吉田 町長

Q 町内、学童保育所は適正規模（基
準）で支障なく運営されているか。

A 町内4箇所の学童保育では、いず
れも基準に照らし、適正規模で支
障なく運営されている。

A また今年10月から「こぼと保育園」が、
開所した学童保育所「こぼとクラブ」も、
基準に照らして適正規模で支障なく運営
されていることを確認した。

Q 保護者、学校との連携体制は日常
的に対処されているか。

A 各学童保育は、直接保護者とすぐ
に連絡が取れるように体制を整備
している。

A また、各小学校や児童館との連携体制
も整備し、子ども達の安全安心に関する
連絡は、日常的に対処されている。



楽しい学童保育

Q 通所、帰宅時の安全性はどのよう
に担保されているか。

A 「つくしんぼクラブ」が時津小
学校の敷地内に移転すると、全
ての学童保育が小学校の敷地内に設置さ
れ、今以上に安全で安心な通所ができる
ものと考えている。

A 更に、各学童保育では、延長保育を
利用される場合は、保護者が迎えに来
ることとなっているので、暗くなっ
てからの帰宅においても安全性が確保さ
れている。



納税は国民の義務です

収納推進専門官 設置後の収納の変化は

収納率は年々向上している

吉田 町長

山脇 博議員

山脇 博議員
租税とは、国家や地方公共団体が、必要な経費を賄うため法令の定めに基づいて国民や住民から強制的に徴収する収入で、税金であり、納税は国民の義務である。

Q 長崎県地方税回収機構に依頼した
事案は年間どれくらいあるか。

A 本町が回収機構に引き継ぎを行う事案は、滞納額がおおむね30万円以上で、納税資力があると認められる滞納者に係るもの、緊急を要する事案又は、市町単独では処理が困難な事案と認められるものとなっており、回収機構と協議のうえ決定している。

平成29年度は27件、金額は6,418万円を引継いでいる。

引継ぎの結果、年度内に納付された金額が、1,099万円、差し押えを行ったものが2件、167万円となっている。

納税誓約により分納が5件、1,747万円、執行停止が3件、171万円となっている。

Q 収納推進専門官を設置後の収納率
の変化はどうなっているか。

A 収納推進専門官の設置は、平成21年度からで、平成20年度の収納率は、現年分と滞納繰越分を合わせた収納率は87.4%となっており、その後年々収納率は向上し、平成29年度の収納率は、現年分と滞納繰越分を合わせて96.6%で、平成20年度と比較して9.2ポイント向上している。

Q 公平な徴収のための徴収率向上の
対策はどうしているか。

A 滞納がある方に対し、早い段階で文書や電話により、確実な納付を求めており、催告や納付相談にも応じず納付に至らない場合には、財産調査のうち差し押えと換価を行い、納税に充てるとともに、差し押えに起因する納付相談への誘導を図ることで、納税意識の向上にも努めている。

いじめの実態把握は どのようにしているか

教職員による児童生徒の観察や
教育相談、生活アンケート、保護
者からの相談等により把握して
いる

相川 教育長

全国的に「いじめ問題」については、増加傾向にあり、「いじめ防止対策推進法」に基づく調査・分析による再発防止に取り組む事も大事ではあるが、いじめを未然に防ぐ努力をしなければならないと思う。

Q 本町はいじめの実態をどのように
把握しているか。

A 「学校いじめ防止基本方針」に基づいて、いじめの早期発見のための体制を築き、教職員による日常の児童生徒の観察や教育相談、学期ごとに実施している生活アンケート、保護者からの相談等により、学級担任をはじめ、養護教諭やスクールカウンセラー、心の教室



みんなで協力仕合っていじめのない学校生活を送ろうね

相談員等が、児童生徒の状態を把握している。

Q 現在、不登校の児童・生徒は
いるか。

A 「不登校」とは「病気や経済的理由による者を除き、連続又は継続して30日以上欠席児童生徒のうち、不登校を理由とする者」となっており、「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」により、要因はさまざまであるが、平成29年度は「29人」となっている。



町木 くすの木

町花 コスモス

町木・町花および花いっぱい街づくり事業の現状は

親しみを持っていただけるよう
推進を図っていききたい 吉田 町長

水口 直喜 議員



Q 町木は、くすの木、町花は、コスモスであるが、どの様な由来であるか。

A 町のイメージアップと、緑豊かな町づくりを進めるため平成元年に、町民に公募し選定した。

Q 町木「くすの木」・町花「コスモス」の推進は、どの様に図っているか。

A くすの木については、カナリーホールなどの主要施設や公園をはじめ、役場前の町道24号線や時津中学校近くの街路樹として植樹している。コスモスについては、とぎつ海と緑の運動公園をはじめ、崎野自然公園などに種を蒔いたり、花いっぱい運動の一環として、町民の皆さまに種を配布するなどして、秋には町内の到るところでコスモスの花が咲き誇るよう、推進している。

Q 本年も3分の2が経過したが、本年度施政方針についての充実・実感「満足度」について、町長の「絆の協働まちづくり」についてうかがう。

A 平成30年度の施政方針「道路などの社会資本の整備」「切れ目のない子育て支援」「本格的な高齢化社会を見据えた施策」を重点施策としている。

「道路などの社会資本の整備」は、時津中央第2土地区画整理事業は、浜田郷清水地区の建物移転において、対象建物36棟の内33棟の移転契約が終わった。

「切れ目のない子育て支援」は、子育て世代の方たちが、安心して子どもを産み、働くことが出来るよう、宅地開発が進む北部地区に、定員60名の月読保育園が、来年4月に開園する予定。

「本格的な高齢化社会を見据えた施策」は、地域支援合いのまちづくりフォーラ

ムを開催し、医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築の実現に向け準備を進めている。

「絆の協働まちづくり」は、とぎつの森再生計画、プロジェクトDどんぐりでは里山再生に合わせ、しゃくなげ、あじさい、つつじなど合計4,500本の花木を植樹、町民の憩いの場となるよう町が協働で整備を進めている。

2期目の教育方針は

町長と教育全般の未来像を描き、
教育の充実発展に取り組み

相川 教育長

Q 教育長として2期目をスタートされたが、これまでの取組みについて、充実・実感は、また今後の方針及び取り組みについての考えは。

A 平成26年10月に本職を拝命し就任して以来、教育行政に誠心誠意取り組み組んで来た。

2020年度からの新学習指導要領の導入に向け、A・L・Tを3人配置するなど外国語教育の計画的な指導を実施する。

特別支援教育の充実のため、特別支援学級や通級指導教室を、全ての学校に開設し学校教育相談員及び教育支援員12人を配置した。

また、登校できにくい子どもたちの心



2期目を迎えた
相川教育長

安らぐ居場所として教育支援センター「ひだまり」を開設した。

2期目を迎え、今後の方針及び取り組みについて、これまでの取り組みを継承し、更に、充実発展させることに力を入れてゆく。

その中でも、特に3点については、1つ目は、行きたい学校づくり、勉強がわかる、友達がいって楽しいことが土台になる。

2つ目は、不登校支援や特別支援教育への一層の推進に努める。

3つ目に、社会教育では、いつでも、どこでも、だれでも、参加出来る環境を目指す。





運行中のコミュニティバス

高齢者支援と交通等の問題は

バス事業者と協力しバス路線の拡充に努めたい
吉田 町長

平埜 靖議員



高齢化社会を迎えた今、お年寄りが生活を営むためには交通は大きな問題である。買物や病院への通院をはじめ、生活に必要な商業施設への交通は自動車によるアクセスが中心になり、結果として車を使えない世代、高齢者の「買物難民」が増えている。

Q 近隣市町村の交通体系の状況や取り組みについて把握しているか。

A 長崎市は乗合タクシー5路線、コミュニティバス10路線を運行。長与町では2路線で乗合タクシーを試験運行している。

Q 高齢者への移動支援が必要だが、交通機関を活用した高齢者の、移動支援に対する考え方は。

A 65歳以上の要支援・要介護の認定の方で、世帯全員の所得税が非課税の方については、500円のタクシー券を、年間10枚交付している。

高齢者の移動支援は、民間バス事業者の協力のもとバス路線の拡充を図る。

Q 「高齢者サロン」は、介護予防・認知症予防活動を目的として行われているが、「高齢者サロン」の趣旨に沿った活動であれば、補助範囲を広げ、高齢者支援を行う必要があると思うが。

A 高齢者サロンは、介護予防活動、認知症予防活動を通じて、生きがいづくり、健康づくりを推進する事を目的としている。

本町の高齢者サロンへの支援は、介護予防の一環として実施している。当分の間、補助金の交付を行うサロンは、自治公民館の活動範囲に一箇所としている。

Q シニアクラブ支援の一環として公園、歩道の花の植え付け・水やり草刈り等の管理を、希望するシニアクラブに委託する考えはないか。

A 花壇の維持管理は、ボランティア活動の一環としての位置付けで、報酬などの支出は考えていない。

公園の維持管理については、地域の皆様に委託することが有効ではないかと考える。

公園の維持管理を希望する団体とは、個別に協議を行う。

学校教育と発達障害の現状は支援や介助を行うよう教育支援員を各学校へ配置している
相川 教育長

Q 発達障害児は普通教室に在学している。

授業や行動面において支援員の支援が必要と考えるが、今後のあるべき姿は。

A 教育委員会としては、発達障害の可能性がある児童生徒を含め、教育的配慮を必要とする、支援の重要性は認識している。

引き続き、緊急性等を考慮し、教育環境の充実に取り組む。



土曜日授業風景 鳴北中学校

Q 夏休み短縮・土曜日授業等教育委員会として今後どの様に対応していくのか。

A 土曜日授業とは、児童生徒の代休日設けず、土曜日あるいは日曜日を活用して、学校が主体となつて行う正規の教育課程の活動のことであり、町立小中学校においても、今年度より実施している。

また、夏休み短縮については調査研究を行いながら、今後、検討していきたい。

議会傍聴記

時津町自治公民館連絡協議会

会長 上 蔭 良弘



この度、十二月の定例会を傍聴させて頂きました。今回は税の徴収要領を含めた税の問題から高齢者問題や子ども達の教育や安全に関する問題等々、多岐に渡る問題が取り上げられ、非常に充実した内容になっていたのではないかと感じました。

定例会の開会から議案審議までの全てを傍聴いたしました。傍聴席はなかなか埋まらず、寂しい状況、傍聴する側としても仕事や所用等により、三日間をフルに傍聴する事が難しい事である事を理解致して居りますが、中には自分が支持する議員さんの質問の間だけ傍聴し、すぐに帰られる方も居りました。

そこでもう一步踏み出して全体を見られては如何ですか、そうすることによって他の議員さんの良し悪し、引いては自分が支持する議員さんの良し悪しも判って来ると思われます。

自らの投票行動をどう取るかの検討材料として、このフル傍聴が大いに役立つ場になるのではないかと思います。

質問される議員の皆様や答弁される行政側の皆様、それぞれ一生懸命に頑張って居られますので、皆様も是非傍聴席へ足を運んで見られたら如何でしょう。

歴史シリーズ

時津街道

勇気ある殉職「鬼塚道男車掌」



昭和22年9月1日午前10時ごろ、当時21歳の鬼塚道男車掌は、西彼杵郡時津村（現在の時津町）打坂で、乗客の生命を救おうとして殉職した。

当時の瀬戸営業所勤務の鬼塚車掌は、長崎行の木炭バスに乗務、満員に近い客を乗せ、打坂を約30メートル上っていった。

峠の頂上まであと数メートルのところ、木炭バスが止まりずると後に下がりはじめ、また突然ブレーキがきかなくなりバスは後退をした。

当時の打坂は急こう配で片側は10メートル以上の深い崖がひかえ、運転者仲間に「地獄坂」と恐れられていた坂。

鬼塚車掌はすぐにバスを飛び降り、道わきの大きな石などを車輪の下に入れたが、加速がついていたバスは石をはねのけ、崖まであと一歩と迫ったその時、鬼塚車掌はとつさに後部車輪の下に飛び込み、自らの体を輪止めにし、バスを止めた。

バスは間一髪のところ「ストップ」買い出しの主婦ら30数人は危うく難をのがれたが、そこには自らの体を輪止めにした鬼塚車掌がいた、急ぎ病院に運んだが、病院で息を引き取った。

敗戦後の荒廃した社会の中、自らの命を犠牲に



当時の木炭バス



して乗客を救った鬼塚車掌の殉職は人々に大きな感銘を与え、この勇気のある鬼塚車掌の行為をたたえ、昭和49年10月、事故現場近くに長崎自動車（株）が地蔵尊を建立された。

打坂地蔵尊 元村バス停近く

長崎県西彼杵郡時津町元村郷1191-1

時津町史談会

編集委員

12月議会の傍聴者は延べ37人でした。次の定例会は、平成31年3月5日（火）からの予定です。
傍聴をお待ちしています。

議会だより「継坊」は議会活動が町民の皆様に分かりやすく伝わるよう、今後も見やすい紙面づくりに努めてまいります。
新井委員長・山口副委員長
濱崎委員・中原委員・浜辺委員・平埜委員・大塚委員



議会開催中は、議会ホームページで「時津町議会本会議」を同時放映します。

www.town.togitsu.nagasaki.jp/gikai/

時津町議会

検索